

## バーミヤン教育文化センター開所式 開催



去る11月14日、アフガニスタン国内で初の本格的な文化財専門家の養成機関ともなる「バーミヤン教育文化センター」の開所式が行われました。

日本の皆さまから寄せられた募金約3350万円により、世界遺産「バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」を一望できる高台に建設されました。平屋建て約1030平方メートルのセンター内には、研修室や収集物件の保管施設のほか、宿泊施設が併設されており、情報文化観光省により管理・運営されます。

開所式には情報文化観光省のオマル・スルタン副大臣をはじめとする関係者約100名が出席し、日本の人びとへの感謝、アフガニスタンの文化の発信基地としての期待などが述べられました。

既に、日本の独立行政法人文化財研究所が2003年より遺跡の現地調査で収集してきた数万点の仏教壁画片の保管場所となっており、今後、国際的な遺跡調査の拠点として利用されます。また、11月24日からは、文化財研究所の主催で、アフガニスタン人の専門家を対象とした壁画の保存、修復に関する研修が始まります。

